

令和5年度 安八町立登龍中学校 学校経営計画

学校課題

- 確かな学力の育成
 - ・ 主体的で対話的で深い学び合い
 - ・ タブレット等 ICT 機器の活用
- 社会性の育成
 - ・ 自己有用感の醸成
- 自治力の育成
 - ・ 地域防災への意識の向上

学校教育目標

他を思いやり 自ら学び 鍛え合い やり切る生徒

校訓 自学・共生・自立

めざす学校像

真に生徒一人ひとりの幸せを考える温かく活力のある学校

経営方針

「どの子もひとりにしない」生徒に学級所属感・自己有用感の高まりのある学校経営

- 【重点】
- ・ 子どもを軸足に「考える」「助け合う」「創り出す」を促す指導の充実
 - ・ 全職員が目的主義に立って協働して行う教育目標の具現
 - ・ 家庭、地域と協働し、三位一体となった教育活動の推進

町教育委員会教育方針

- ・ 一人一人に生きる力を育む指導の充実
- ・ 自他の生命を尊重する心や規範意識を養う指導の充実
- ・ 学校の教育目標の具現に徹する学校経営の推進
- ・ ふるさとを愛する心と態度を育てる指導の充実

自学

【目標】「わかった」「できた」と学びを実感できる授業の実現

願う生徒像

自分で課題を見つけ、自分で解決していける生徒

共生

【目標】自己有用感の醸成よりよい人間関係の育成

願う生徒像

お互いを認め合い、仲間と高め合うことができる生徒

自立

【目標】自発・自治力の育成 安心・安全な環境づくり

願う生徒像

正しい判断ができ、自分たちの力で学校生活を創ろうとする生徒

核とする教育活動

学習・合唱・掃除・挨拶・ボランティア活動・防災教育

《具体的な施策》

- 驚き・疑問などから生まれる問題解決型の学習課題の提示
- 生徒の考えが広がり、深まるよう視点を明確にした交流活動
- ICT の効果的な活用
- 将来への夢や志をもつことができるキャリア教育の推進

目標指標

- 授業が「分かる」と回答する生徒 (95%)
- 自分の考えを進んで仲間に伝えていると回答する生徒 (90%)
- タブレットの使い方が分かると回答する生徒 (95%)
- 自分には将来の目標や夢があると回答する生徒 (80%)

【主担当】 研推長(研推委)学指導部長 進路指導主事 キャリア教育担当

《具体的な施策》

- 活動の機会を設け、表出したよさを認め、値打ちを語り価値付ける支援の充実
- 自己有用感を高める教育相談体制の実施 未然に・見逃さない・みんなで対応(3M)
- 問題行動未然防止、早期発見、対応力向上
- 全教職員により、生徒のよさを認め、昼の放送、学活、集会等での周知

目標指標

- 自分によいところがあると回答する生徒 (80%)
- 先生は悩みや話を聞いてくれると回答する生徒 (85%)
- いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うと回答する生徒 (100%)
- 先生はあなたのよいところを認めてくれると回答する生徒 (85%)

【主担当】 生活指導部長 道徳担当 教育相談担当 生徒指導主事

《具体的な施策》

- 目的主義に立った係活動・学級活動の取組実践
- 生徒会が中心となり、体育大会、文化祭等の内容を充実し、生徒の達成感・充実感につながる取組実践
- 地域防災への意識の向上、規則を守り安全意識の向上を図る取組実践
- ふるさと教育の充実

目標指標

- 係活動や行事では自分の仕事の意味を理解して積極的に活動することができたと回答する生徒 (90%)
- 登龍中の行事は楽しく充実していると思うと回答する生徒 (95%)
- 自分の命は自分で守ることができた と回答する生徒 (100%)
- 地域に貢献する意識をもち行動することができた と回答する生徒 (60%)

【主担当】 特活指導部長 学年主任 生徒会担当 保健主事

【目指す教師像】

- ・ 子どもに軸足を置き、生徒の成長を支える教師
- ・ よく工夫し、わかりやすい授業実践に絶えず、努める教師 (主体的・対話的で深い学びの実践)
- ・ 目標に向かって連携・協力し組織的に動く教師

職員集団 チーム登龍

【目標】 時間外勤務の縮減 同僚性の向上 危機管理意識の向上

《重点》 水曜日ノー残業デーの実施

- ・ OJTの継続的な実施
- ・ 検討できていない業務等の見直し

【主担当】 教頭 教務 研修主事

保護者が信頼し、地域を応援したくなる学校

- ・ 地域の一員としての意識を高めるボランティア活動の充実
- ・ 地区の小学校との連携を図った教育の推進
- ・ コミュニティー・スクールの推進
- ・ 学校評価の活用 PDCA による指導改善
- ・ 防災教育の推進及び地域との連携強化

【主担当】 管理職